

■第13回「しまねナイスパートナー」選定者一覧

※推薦書受付順、敬称略

	氏名	年齢	住所	活動状況
1	かげやま まさこ 陰山 雅子	76	出雲市	(夫妻) 公民館がコミュニティセンターに移行してから、管理運営や事業実施におけるリーダーシップにより、組織の活性化に尽力。 (夫妻) ご夫妻ともにマイルドな包容力に富んだお人柄であり、お互いに刺激し合って明るく住みよい出西づくりに貢献。 (妻) 出西公民館の諸活動において組織の活性化をリードし、女性部「やまびこ会」やミニデイサービスのボランティアリーダーとして福祉活動等を中心に多方面で活躍。
	かげやま せいじ 陰山 清二	79		(夫) 平成14年12月から平成22年11月まで民生児童委員、2期6年間出西支部長、3年間地区社会福祉協議会会長を務め、社会教育及び地域福祉の向上に尽力。 (夫) 平成17年4月から8年間、出西公民館長を務め、平成25年4月からはコミュニティセンター運営委員会会長として手腕を発揮。
2	いたくら すみこ 板倉 澄子	66	出雲市	(夫妻) ご夫妻で、神西地区青少年の健全育成の支援、子育てサロン支援等に積極的に参加され尽力。 (夫妻) 地元から、厚い人望を得ておられ、お二人とも優しく良きお人柄であり、積極的にコミュニティセンター活動に従事。 (妻) 平成20年4月よりコミュニティセンター専門部、環境部員として神西小学校4年生とEM団子作りを行い、神西湖の浄化・美化に貢献。
	いたくら おさむ 板倉 修	68		(妻) 平成25年から更生保護女性会の一員として、挨拶運動、歳末の街頭指導等に積極的に参加され活躍。 (夫) 平成25年から青パト隊員として、神西地区の子ども達の見守り、神西地区の安心安全な街づくりに貢献。
3	にった かずえ 新田 一枝	70	安来市	(夫妻) 地域交流センターの運営協議委員として諸行事、寿会等にご夫妻揃って参加され、活動の中心として活躍。 (夫妻) ご夫妻で、野菜作りに携わり、思いやりを持って助け合い、地域の方々と交流しながら、地域における活動に従事。 (妻) 退職後、農業に携わりながら、趣味の縁側茶、童謡を歌う会、手芸教室を活かし、地域の文化活動において活躍。
	にった こうじ 新田 功二	75		(妻) 自治会のミニサロンの立ち上げに尽力され、認知症予防に積極的に取り組まれている。 (夫) 退職後、農業に携わりながら、趣味の安来節を活かし、地域の文化活動において活躍。
4	いずみ ゆかこ 泉 由嘉子	77	安来市	(夫妻) 趣味を活かし、地域のイベントに二人揃ってボランティアとして積極的に参加し活躍。 (夫妻) 地域交流センターの運営協議委員として、諸行事にご夫妻揃って参加され、活動の中心として活躍。
	いずみ さとる 泉 悟	80		(妻) 退職後、趣味の大正琴、俳句の会を活かし、慰問等地域の文化活動に積極的に参加。 (夫) 退職後、趣味の包丁研ぎを活かし、安来市のボランティアや地域の文化活動に積極的に参加。交流センターでの包丁研ぎ講習会では講師として活躍。 (夫) 小学校の見守り隊として地域の子ども達をサポートされている。

■第13回「しまねナイスパートナー」選定者一覧

※推薦書受付順、敬称略

	氏名	年齢	住所	活動状況
5	いしばし ふじこ 石橋 富士子	62	大田市	(夫妻) ご夫妻ともに地域活動に積極的であり、諸行事、イベント等に参加し、地域の後輩の育成に尽力。 (夫妻) 大田市「男女共同参画事業」における地元ケーブルテレビの出演者として抜擢され、ご夫妻の協力し合う微笑ましい様子が放映され、広く市民に認識されている。
	いしばし ていいちろう 石橋 哲一郎	63		(妻) 今年度、世界遺産登録10周年を迎えた「石見銀山とその文化的景観」のガイドンス施設である「石見銀山世界遺産センター」に開設時より勤務し、世界遺産の価値を市民及び来訪者に知って頂くための広報活動等に貢献。また、センター内での寸劇上演の立ち上げに尽力。 (夫) 仁摩地域活性化シンボルキャラクター「琴音ちゃん」のデザイン、着ぐるみ製作に携わり地域振興に貢献。 (夫) 石見銀山協働会議理事、まちづくり委員会会長、仁摩で恋活実行委員会委員長を務め、地域活動において活躍。
6	たむら せつこ 田村 節子	70	出雲市	(夫妻) 放課後子ども教室において、ご夫妻で書道教室を開講。子どもを温かく支えることで、地域の絆づくり活動に貢献。 (夫妻) 四絡地区は、地区のつながりが希薄になっていることから、ご夫妻で協力し町内会の組織化・加入促進に尽力。 (夫妻) 四絡小学校の登下校時の挨拶運動等、子どもたちを温かく支えていく活動にご夫妻で積極的に参加。
	たむら みちふと 田村 道太	70		(妻) 手をつなぐ育成会四絡支部代表として、障がいのある人が地域で心豊かに生活が出来るための育成活動、住民理解の促進、普及啓発活動に貢献。 (夫) 四絡地区の高齢者や障がいをもつ人を災害時に支援する「四絡災害時支援隊」の設立に尽力し、住民の防災意識の向上に貢献。
7	いまだ きしえ 今田 貴志江	55	浜田市	(夫妻) ご夫妻ともに、弥栄の良さを知ってほしいという思いを持ち、地域のイベント等に積極的に参加され、弥栄地域の活性化に貢献。 (夫妻) 猟師の孝志さんと杜氏の貴志江さんの特技を活かし、陽気な狩人の経営をご夫妻で仲良く行い多くの方を惹きつけている。 (妻) 伝統を絶やさぬようどぶろく醸造に携り、島根県が開発した梅の酵母を使用したどぶろく「嬉し楽し」を創作し、地域のどぶろく文化の振興に貢献。
	いまだ たかし 今田 孝志	66		(妻) 地域イベント等におけるどぶろく活用の企画など、地域の活動に積極的に参加。 (夫) 猟師という立場で、地域の住民、小・中学生、来店者に対して「命の授業」を行っており、地元のみならず遠方のファンも多く、弥栄町の活性化に貢献。
8	さめ もとこ 佐目 モト子	72	松江市	(夫妻) ご夫妻がお互いの活動(モト子氏の茶道同好会、葆氏の島根町潮風グループ)を尊重し、協力しながら地域活動に取り組みされている。 (夫妻) ご夫妻の地域貢献に加え、家族全員が地域活動に積極的に参加し活躍。
	さめ ひろし 佐目 葆	74		(妻) 島根町ボランティア促進協議会を設立。設立時に会長に就任し、現在は、副会長として活動を牽引。 (夫) 島根町潮風グループ代表として、特産品であるイチジク加工品等の生産・販売による新しい雇用の場の創出に尽力。 (夫) 平成20年から保護司として活動され、更生保護法人島根保護観察協会副理事長を務められ、健全な青少年の育成に尽力。